

令和4年度

広島高速2号線及び3号線電気室浸水対策その他工事

設計図

令和4年4月

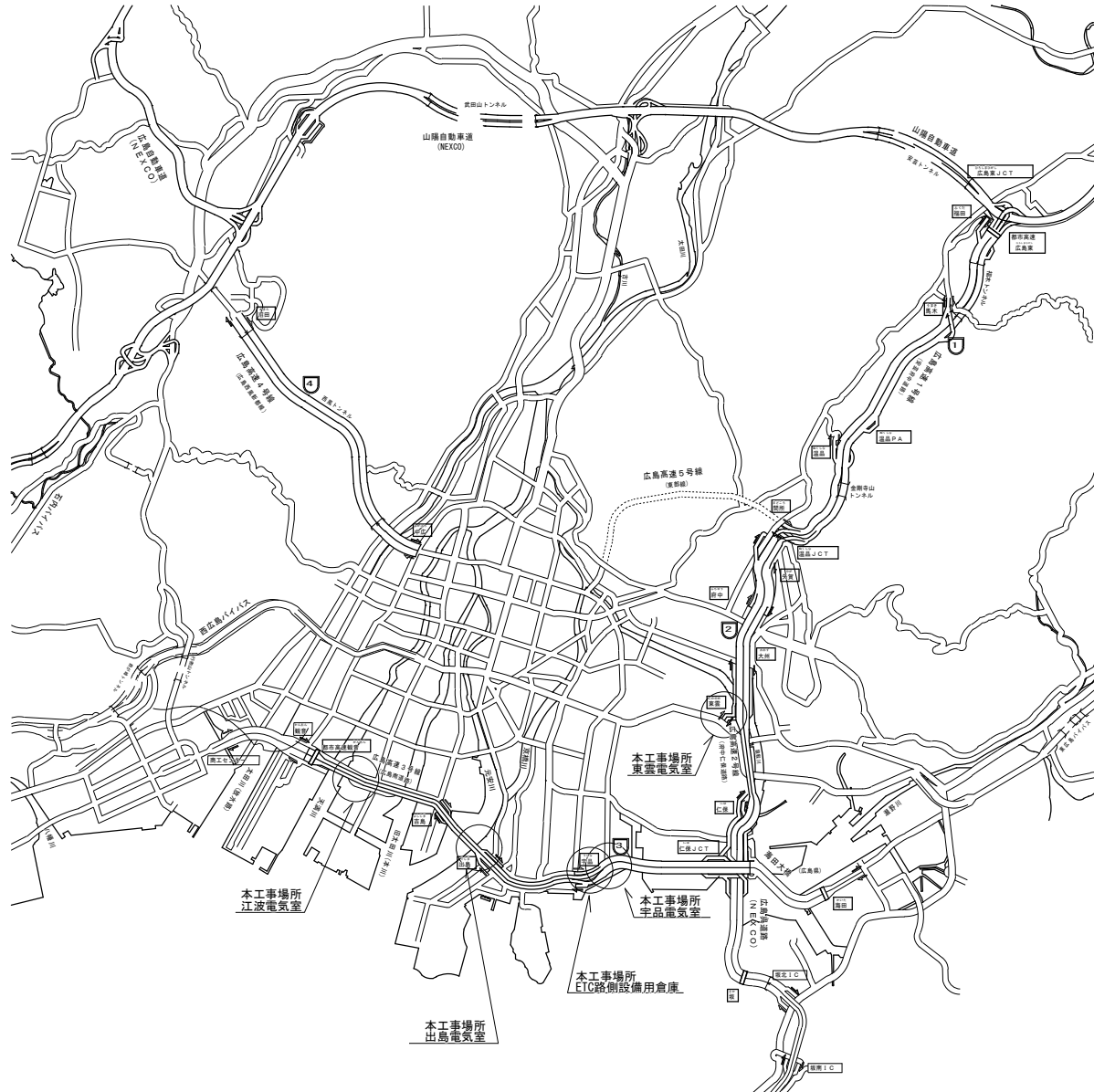
広島高速道路公社

## 図 面 目 録

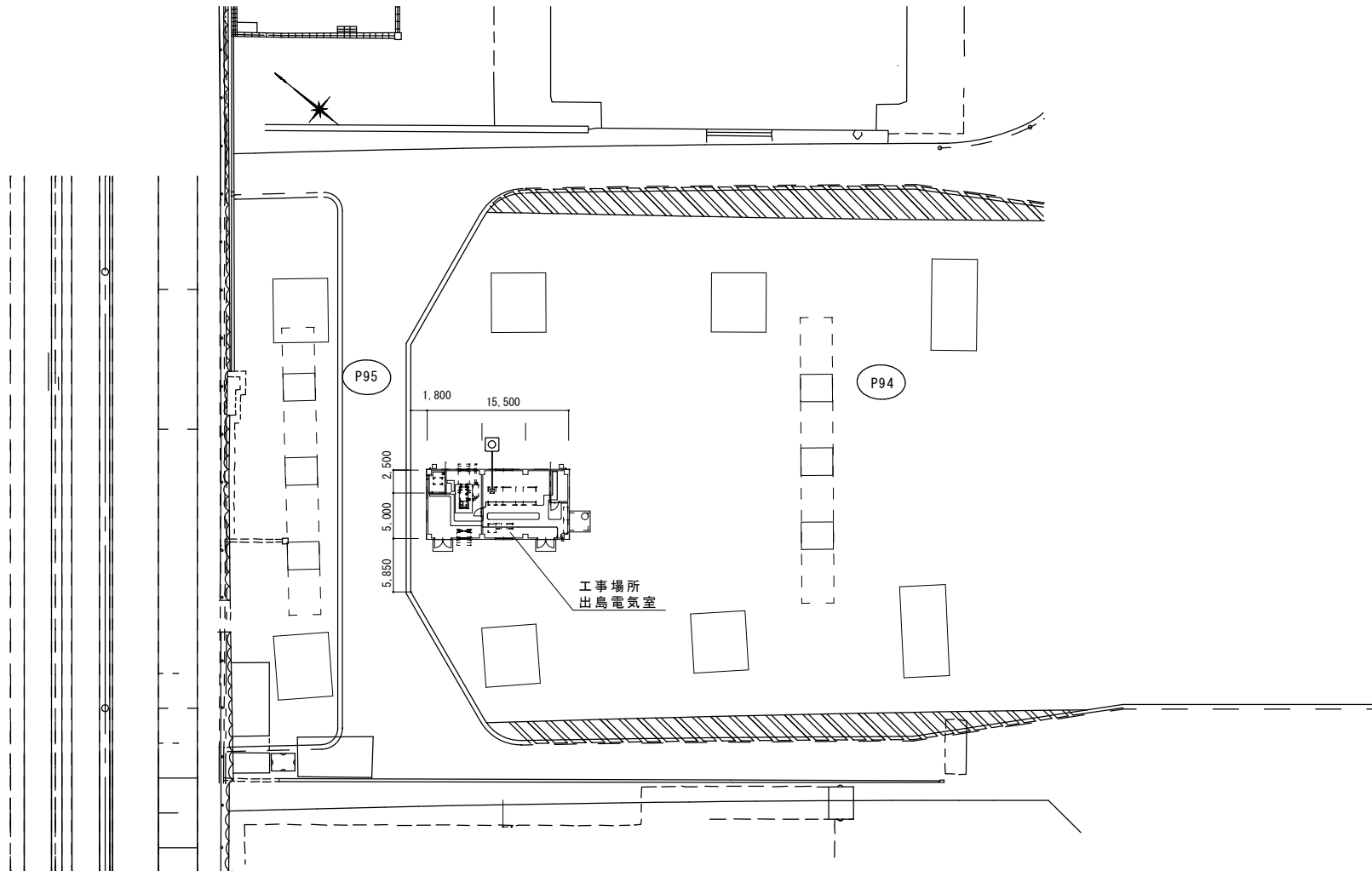
図面番号	図 面 名 称	縮 尺	備 考
1	案内図	N. S	
2	広島高速2号線及び3号線電気室浸水対策工事 出島電気室配置図	N. S	
3	広島高速2号線及び3号線電気室浸水対策工事 江波電気室配置図	N. S	
4	広島高速2号線及び3号線電気室浸水対策工事 東雲電気室配置図	N. S	
5	広島高速2号線及び3号線電気室浸水対策工事、広島高速ETC路側設備用倉庫 新築工事(その3) 宇品電気室、ETC倉庫配置図	N. S	
6	広島高速2号線及び3号線電気室浸水対策工事 出島電気室平面図・建具表・矩計図	N. S	
7	広島高速2号線及び3号線電気室浸水対策工事 江波電気室平面図・建具表・矩計図	N. S	
8	広島高速2号線及び3号線電気室浸水対策工事 東雲電気室平面図・建具表・矩計図	1/200、N. S	
9	広島高速2号線及び3号線電気室浸水対策工事 宇品電気室平面図・建具表・矩計図	1/200、N. S	
10	広島高速ETC路側設備用倉庫新築工事(その3) 外形図	1/100	
11	広島高速ETC路側設備用倉庫新築工事(その3) 断面図(側面)	1/30	
12	広島高速ETC路側設備用倉庫新築工事(その3) 基礎図・基礎詳細図	1/100、N. S	

令和4年度			
工事名	広島高速2号線及び3号線電気設備工事その他の工事		
図面番号	1	縮尺	N.S
図名	案内図	備考	—
路線名	広島高速道路公社		

案内図

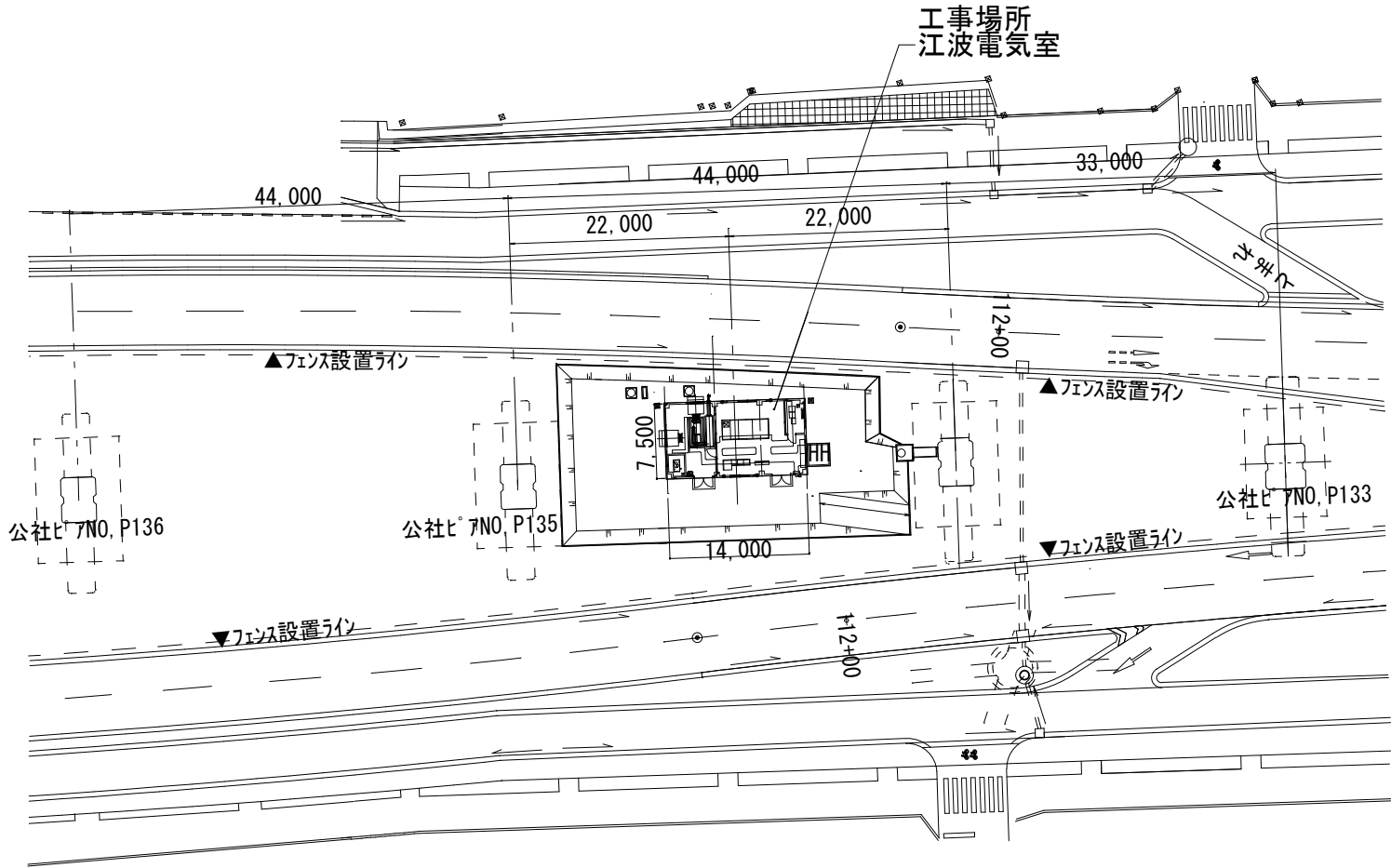


令和4年度			
工事名	広島高速2号線及び3号線電気室浸水対策その他工事		
図面番号	2	縮尺	図示
図名	広島高速2号線及び3号線 電気室浸水対策工事 出島電気室配置図	番号	—
路線名	広島高速3号線		
	広島高速道路公社		



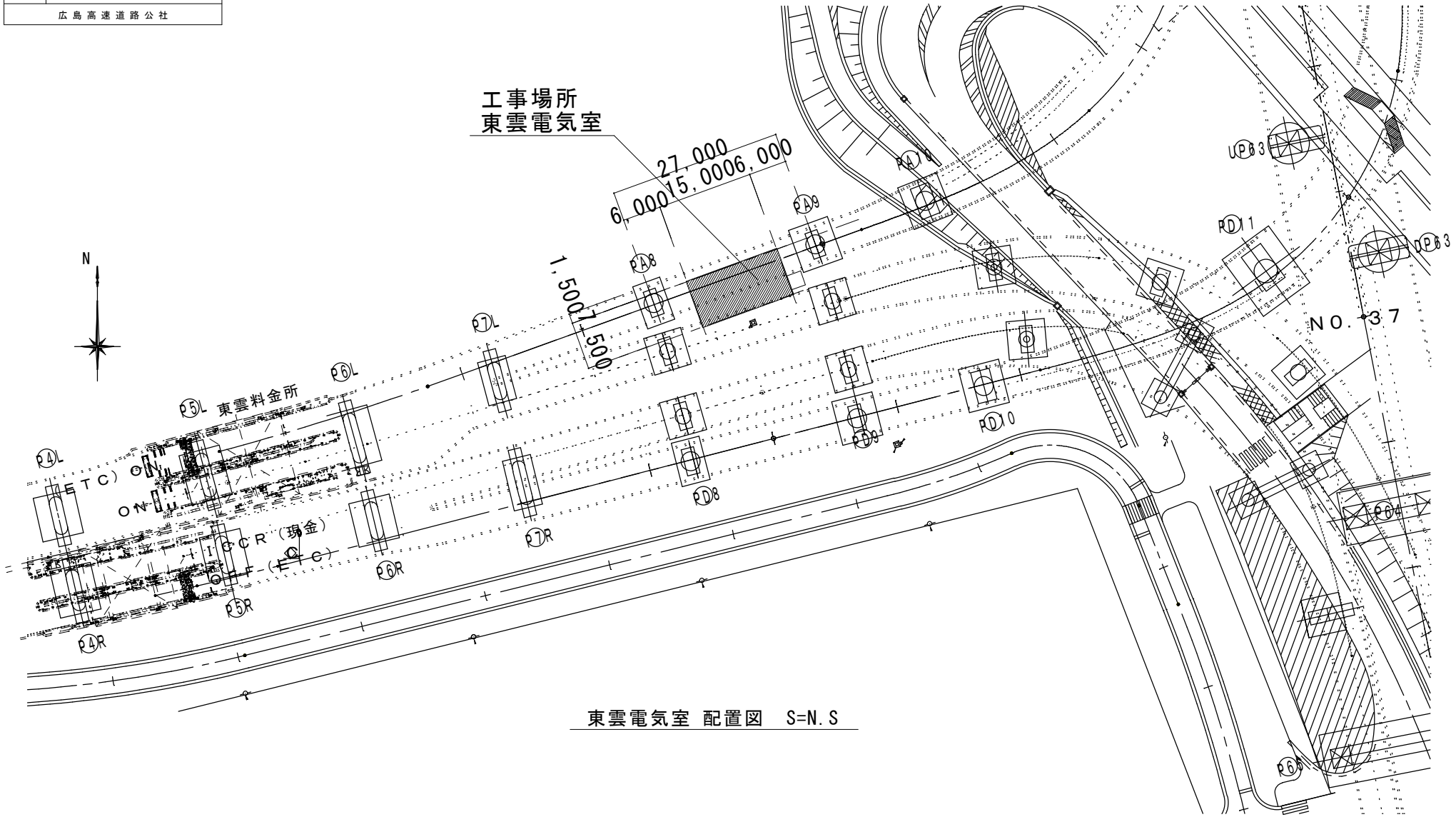
出島電気室配置図 S=N. S

令和4年度			
工事名	広島高速2号線及び3号線電気室浸水対策その他工事		
図面番号	3	縮尺	図示
図名	広島高速2号線及び3号線 電気室浸水対策工事 江波電気室配置図	番 号	—
路線名	広島高速3号線		
広島高速道路公社			



江波電気室配置図 S=N. S

令和4年度			
工事名	広島高速2号線及び3号線電気室浸水対策その他工事		
図面番号	4	縮尺	図示
図名	広島高速2号線及び3号線 電気室浸水対策工事	番号	—
路線名	広島高速2号線		
広島高速道路公社			

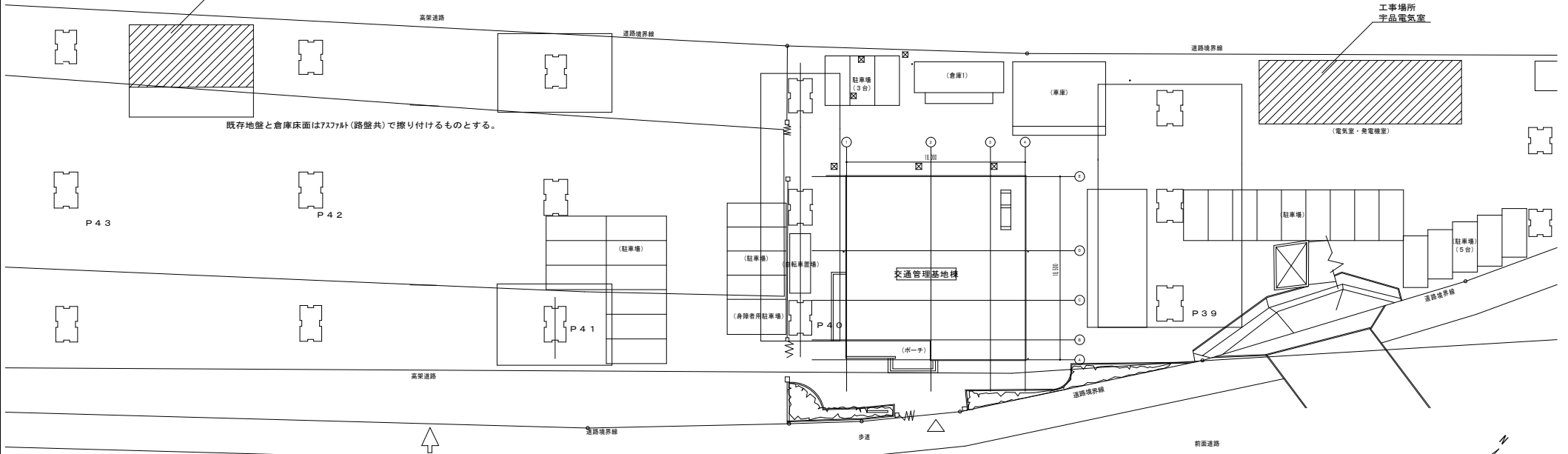


東雲電気室 配置図 S=N.S

令和4年度			
工事名	広島高速2号線及び3号線電気設備長対策その他工事		
図面番号	5	縮尺	図示
図名	広島高速2号線及び3号線電気設備長対策その他工事 宇品電気室、ETC倉庫配置図		
路線名	広島高速3号線		
広島高速道路公社			

工事場所  
ETC路側設備用倉庫  
配置は概略位置を示す。現地測量等を行い、最終位置を確定させること。

既存地盤と倉庫床面は75mmφ(路盤共)で擦り付けるものとする。

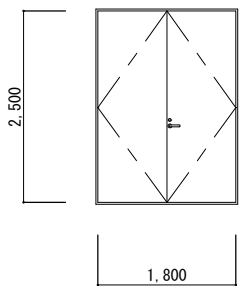


宇品交通管理基地 配置図 1:200

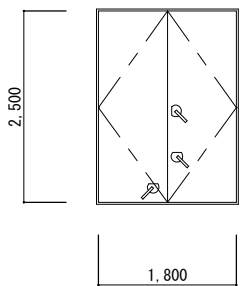
令和4年度			
工事名	広島高速2号線及び3号線電気室浸水対策その他工事		
図面番号	6	縮尺	図示
図名	広島高速2号線及び3号線 電気室浸水対策工事 出島電気室 平面図・建具表・矩計図	番号	
路線名	広島高速3号線		
広島高速道路公社			

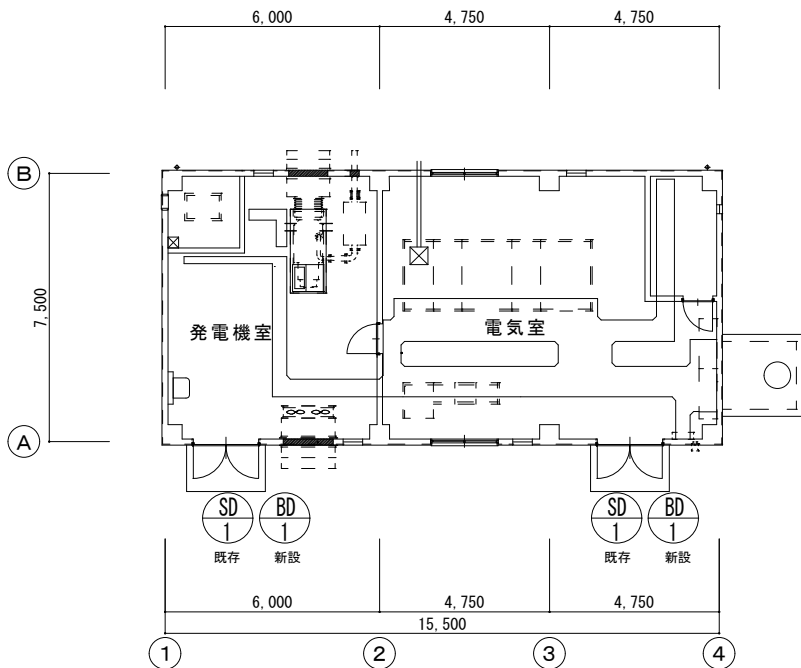
建具表

既存

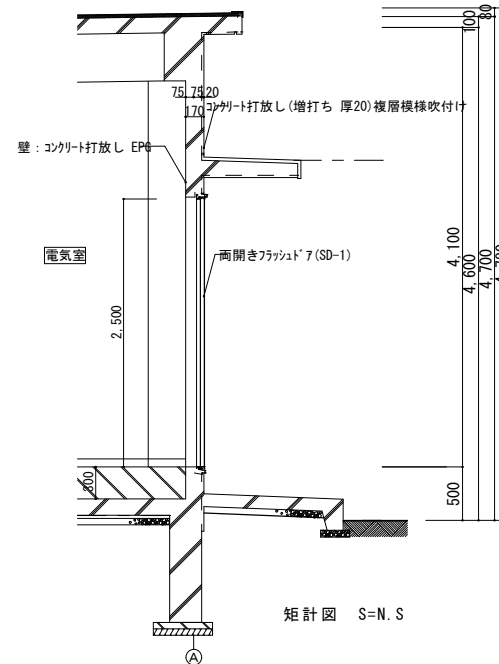
符号名称	(SD-1) 両開きフラッシュドア
位置個数	発電機室・電気室 2
形状寸法	
材質	扉:スチール=1.6 枠:スチール=2.3
仕上	SOP塗装
金物	リソク一本締り錠・レバーハンドル・丁番 外壁戸当り・フラス落し・ドアチェック
硝子	
見込	枠:100 扉:40
備考	番摺: SUS304 t=2.0 ・7M緑線

新設

符号名称	(BD-1) 鋼製両開き防水扉
位置個数	発電機室・電気室 2
形状寸法	
仕様・仕上(枠共)	耐候性塗料塗り(DP)1級
建具、見込	メーカー仕様
建具枠、見込	メーカー仕様
番摺	ステンレスSUS304 t=2.0HL仕上
建具金物	二軸丁番、ドアチェック、レモンレバーハンドル(メーカー仕様)
性能等級 その他	Ws-4、A-4、W-5 外部はリソク錠、内部はサム錠とする。 戸当り・おとり止めをつける。 止水高1mを想定。



出島電気室平面図 S=N.S



矩計図 S=N.S

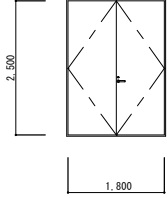
※ 既存鋼製建具(SD-1)を撤去後、当該防水扉(BD-1)を取り付けるものとする。  
建具周囲は防水モルタル充填・塗装EP(外部)、シーリングを施すものとする。  
工事の際、室内に仮設間仕切り壁(LGS、石膏ボードt12.5)を設けること。



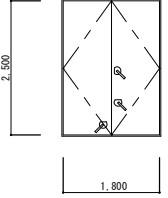
令和4年度			
工事名	広島高速2号線及び3号線電気室浸水対策その他工事		
図面番号	7	縮尺	図示
図名	広島高速2号線及び3号線 電気室浸水対策工事 江波電気室 平面図・建具表・矩計図	番号	
路線名	広島高速3号線		
広島高速道路公社			

建 具 表

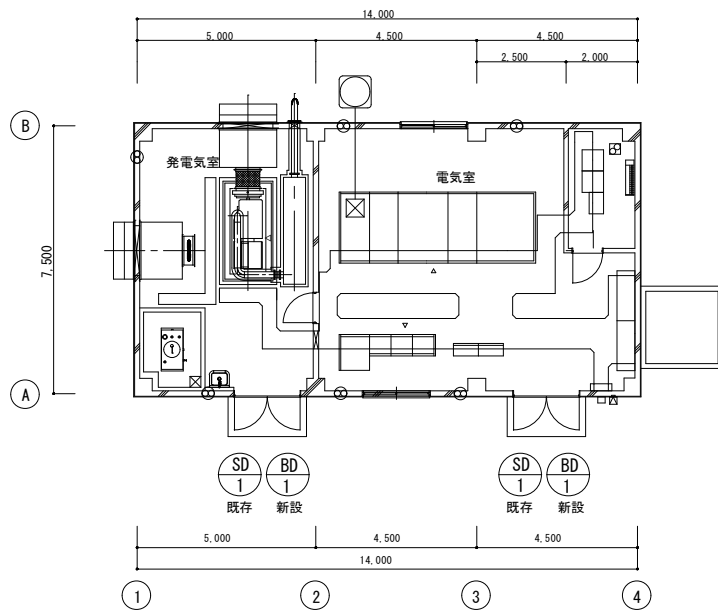
既存

符号名称	(SD) 両開きフラッシュドア
位置個数	発電機室・電気室 2
形状寸法	
材質	扉:スチールt=1.6 枠:スチールt=2.3
仕上	SOP塗装
金物	シリンダ-本締り錠・レバ-ハンドル・丁番 戸当り(フック付)・フラス落し・ドアチェック
頑子	
見込	枠:100 扉:40
備考	資糧: SUS304 t=2.0

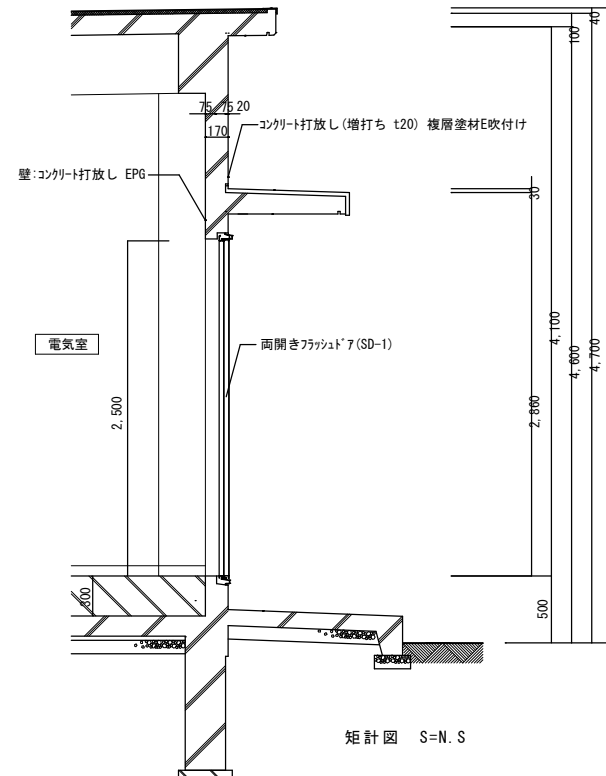
新設

符号名称	(BD) 鋼製両開き防水扉
位置個数	発電機室・電気室 2
形状寸法	
仕様・仕上(枠共)	耐候性塗料塗り(DP)1級
建具・見込	メーカー仕様
建具材・見込	メーカー仕様
資糧	ステンレスSUS304 t=2.0HL仕上
建具金物	二軸丁番・ドアチェック・レバ-ハンドル・メーカー仕様
性能等級	Ws-4, A-4, W-5
その他	外部はシリンダ錠、内部はサムターンとする。 戸当り・あおり止めをつける。 止水高1mを想定。

※ 既存鋼製建具(SD-1)を撤去後、当該防水扉(BD-1)を取り付けるものとする。  
建具周囲は防水モルタル充填、塗装EP(外部)、シーリングを施すものとする。  
工事の際、室内に仮設間仕切り壁(LGS、石膏板・t12.5)を設けること。



江波電気室平面図 S=N.S

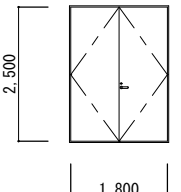
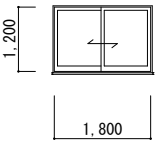


矩計図 S=N.S

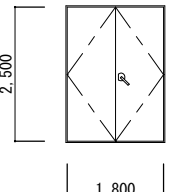
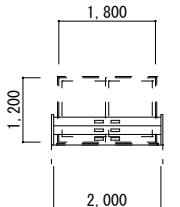
令和4年度			
工事名	広島高速2号線及び3号線電気室浸水対策その他工事		
図面番号	8	縮尺	図示
図名	広島高速2号線及び3号線 電気室浸水対策工事 東雲電気室 平面図・建具表・矩計図	番号	—
路線名	広島高速2号線		
	広島高速道路公社		

### 建具表

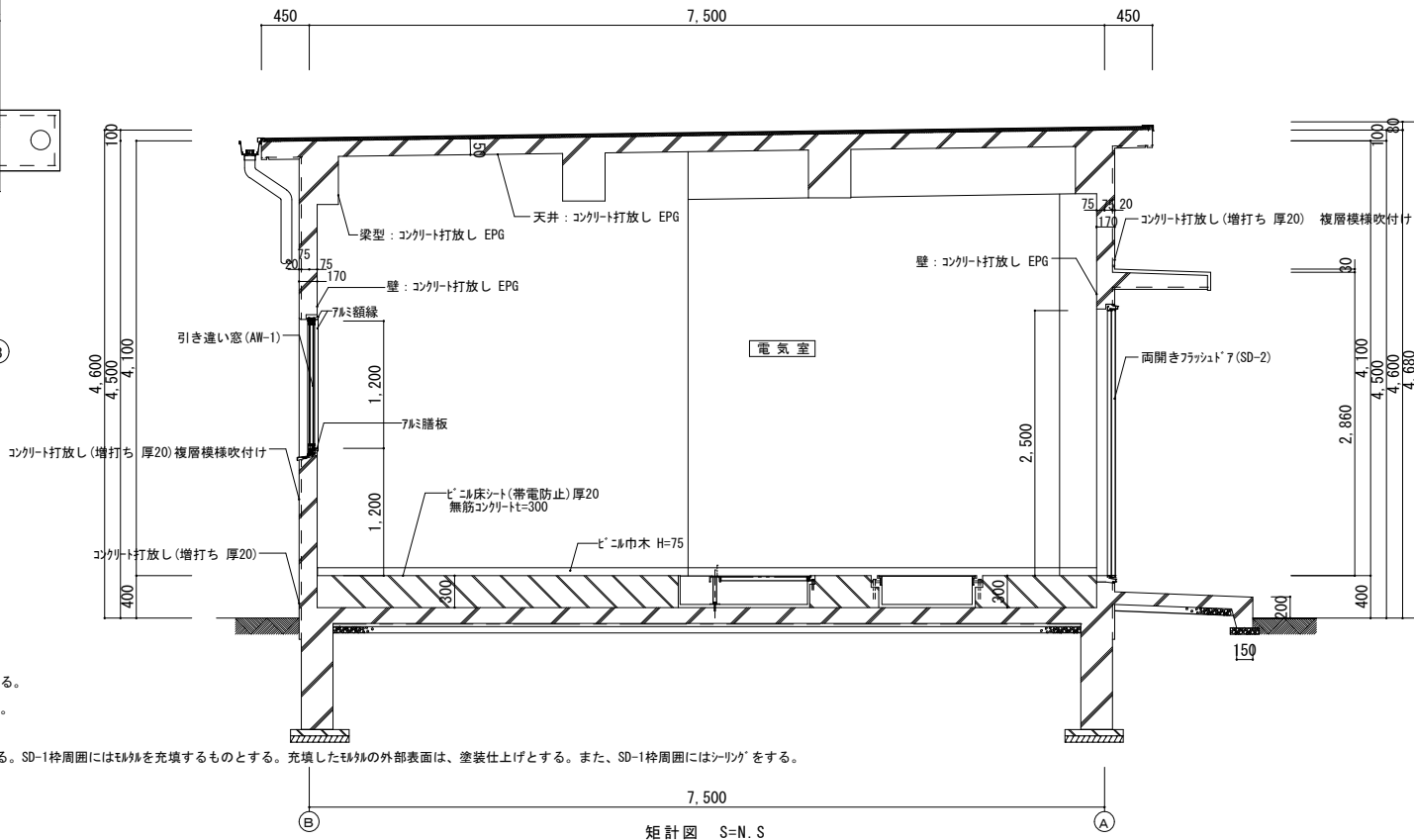
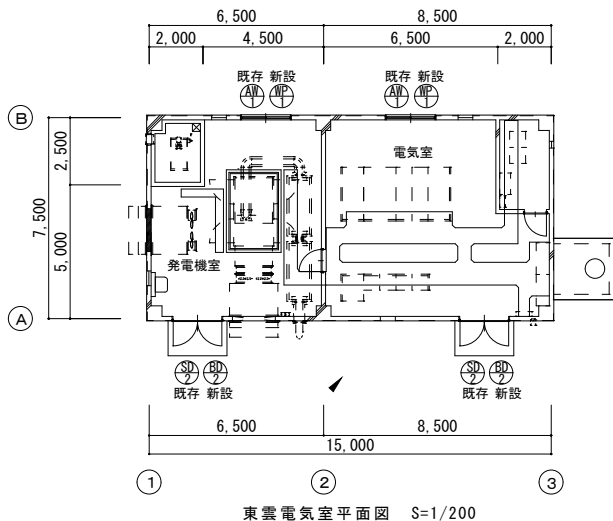
既存

符号名称	(SD-1) 両開きフラッシュドア	(AW-1) 引き違い窓
位置個数	発電機室・電気室 2	発電機室・電気室 2
形状寸法		
材質	扉:スチールt=1.6 枠:スチールt=2.3	アルミ
仕上	SOP塗装	アルマイト
金物	リッパ一本締め錠・ハンド・D番 外壁戸当り・フラス落し・ドブツツク	クレセント・戸車・アルミ水切
硝子		網入型板ガラス t=6.8
見込	枠:100 扉:40	枠:70
備考	查摺: SUS304 t=2.0・7mm額縁	ステンレス網戸・アルミ額縁

新設

符号名称	(BD-2) 鋼製両開き防水扉	(WP-1) 脱着式防水板
位置個数	発電機室・電気室 2	発電機室・電気室 2
形状寸法		
仕様・仕上(枠共)	耐水性塗料塗リ(OP)1級	アルミ
建具・見込	メーカー仕様	—
建具枠・見込	メーカー仕様	—
査摺	ステンレスSUS304 t=2.0HL仕上	—
建具金物	二軸丁番、ドブツツク、面付ロー締めリハンド(メーカー仕様)	メーカー仕様
性能等級 その他	Ws-4, A-4, W-5 外部はリッパ錠、内部はリッパ錠とする。 戸当り・あおり止めをつける。 止水高2.3mを想定。	Ws-2

※ 既存鋼製建具(SD-2)を撤去後、当該防水扉(BD-2)を取り付けるものとする。  
建具周囲は防水材充填・塗装EP(外部)、シーリングを施すものとする。  
工事の際、室内に仮設間仕切り壁(LS、石膏ボードt12.5)を設けること。  
コンクリートを増し打ちをし、その上にWP-1を取り付けるものとする。



※ 既存両開きフラッシュ7SD-1は撤去するものとする。SD-1枠周囲をカッター切り後、SD-1を撤去する。

SD-1枠周囲にはモルタルを充填するものとする。充填したモルタルの外部表面は、塗装仕上げとする。

また、SD-1枠周囲にはシーリングをすること。

※ 既存両開きフラッシュ7SD-1は撤去するものとする。SD-1枠周囲をカッター切り後、SD-1を撤去する。SD-1枠周囲にはモルタルを充填するものとする。充填したモルタルの外部表面は、塗装仕上げとする。また、SD-1枠周囲にはシーリングをすること。

令和4年度			
工事名	広島高速2号線及び3号線電気室浸水対策その他工事		
図面番号	9	縮尺	図示
図名	広島高速2号線及び3号線 電気室浸水対策工事 宇品電気室 平面図・建具表・矩計図	番号	—
路線名	広島高速3号線		
広島高速道路公社			

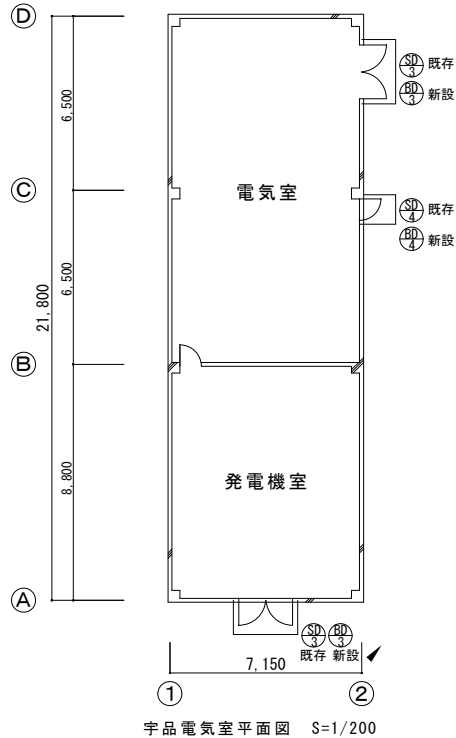
建具表

既存

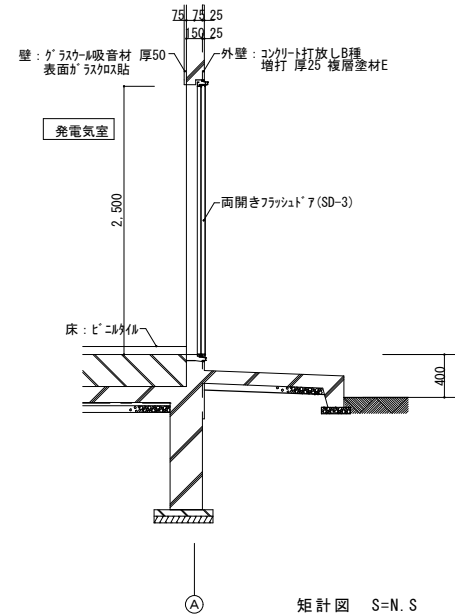
符号名称	(SD3) 両開きフラッシュドア	(SD4) 片開きフラッシュドア
位置個数	発電機室・電気室 2	電気室 1
形状寸法		
附属金物	重量ゲレンボルト、重量丁番、内蔵型上ゲ落シ リリング一本締錠、ドアフェック、共通使用金物一式 番摺 SUS304 厚2	丁番、リリング一本締錠、ドアフェック 共通使用金物一式 番摺 SUS304 厚2
硝子		
見込材料	140 ステンレス	140 ステンレス
備考	簡易気密型	簡易気密型

新設

符号名称	(BD3) 鋼製両開き防水扉	(BD4) 鋼製片開き防水扉
位置個数	発電機室・電気室 2	電気室 1
形状寸法		
仕様・仕上(控共)	耐候性塗料塗り(DP)1級	耐候性塗料塗り(DP)1級
建具・見込	メーカー仕様	メーカー仕様
建具枠・見込	メーカー仕様	メーカー仕様
番摺	ステンレスSUS304 t=2.0HL仕上	ステンレスSUS304 t=2.0HL仕上
建具金物	二軸丁番、ドアフェック、ゲレンボルト・レバー・ハンドル(メーカー仕様)	二軸丁番、ドアフェック、レバー・ハンドル(メーカー仕様)
性能等級 その他	Ws-4、A-4、W-5 外部はリリング錠、内部は#M-3とする。 戸当り・あおり止めをつける。 止水高1mを想定。	Ws-5、A-4、W-5 外部はリリング錠、内部は#M-3とする。 戸当り・あおり止めをつける。 止水高1mを想定。

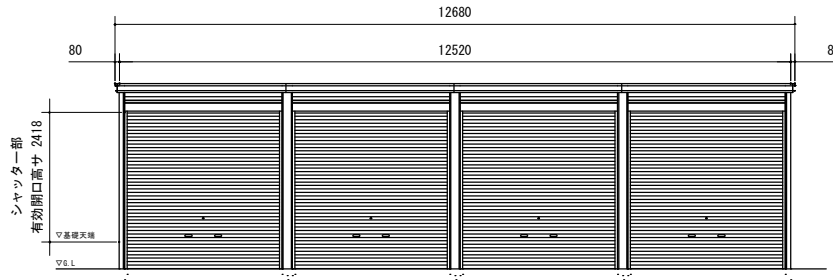
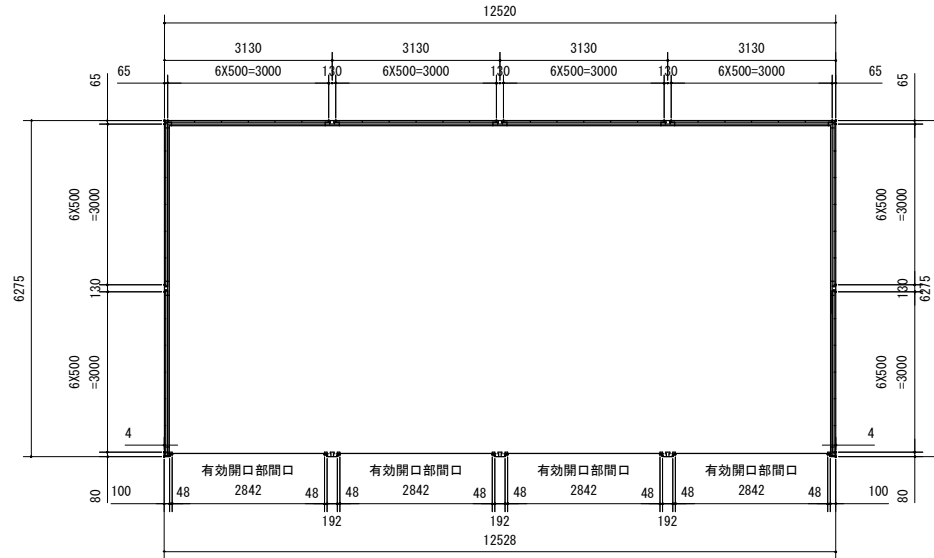


※ 既存鋼製建具(SD-3.4)を撤去後、当該防水扉(BD-3.4)を取り付けるものとする。  
建具周囲は防水モルタル充填、塗装EP(外部)、シーリングを施すものとする。  
工事の際、室内に仮設間仕切り壁(LGS、石膏ボードt12.5)を設けること。



令和4年度			
工事名	広島高速2号線及び3号線電気室浸水対策その他工事		
図面番号	10	縮尺	図示
図名	広島高速ETC路側設備用倉庫新築工事(その3)外形図	番号	—
路線名	広島高速3号線		
広島高速道路公社			

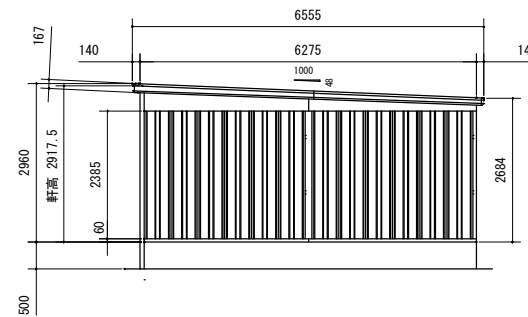
外形図 (S=1/100)



(1) 4連結型ガレージ数量表

番号	品名	規格	数量	単位	備考
1	ガレージ一般形(シャッター)	GRN-3162JL	1	棟	1棟目
2	ガレージ一般形(シャッター)	GRN-3162JL	3	棟	2棟目以降
3	ガラス窓・アミ戸	GNR-2J、ANW-2P	1	箇所	ガラス付、壁ハネ2枚分
4	かまちドア(トアクロサ付)	DNR-J	1	箇所	壁ハネ2枚分
5	雨ドイ A	3130J	1	箇所	1棟目独立用
6	雨ドイ B	3130J	2	箇所	追加棟たてとい無し
7	雨ドイ C	3130J	1	箇所	追加棟たてとい有り
8	明かり窓付シャッター	3130	4	シャッター	1段当たり5コ
9	20cm換気扇取付用ハネ・換気フード	KNK-J、JK	3	箇所	
10	フード付メッシュハネ	KNF-J	3	箇所	
11	シャッターケース	3130	4	シャッター	
12	後面ワイド棚	3130mm×3(J)	1	箇所	3連続型

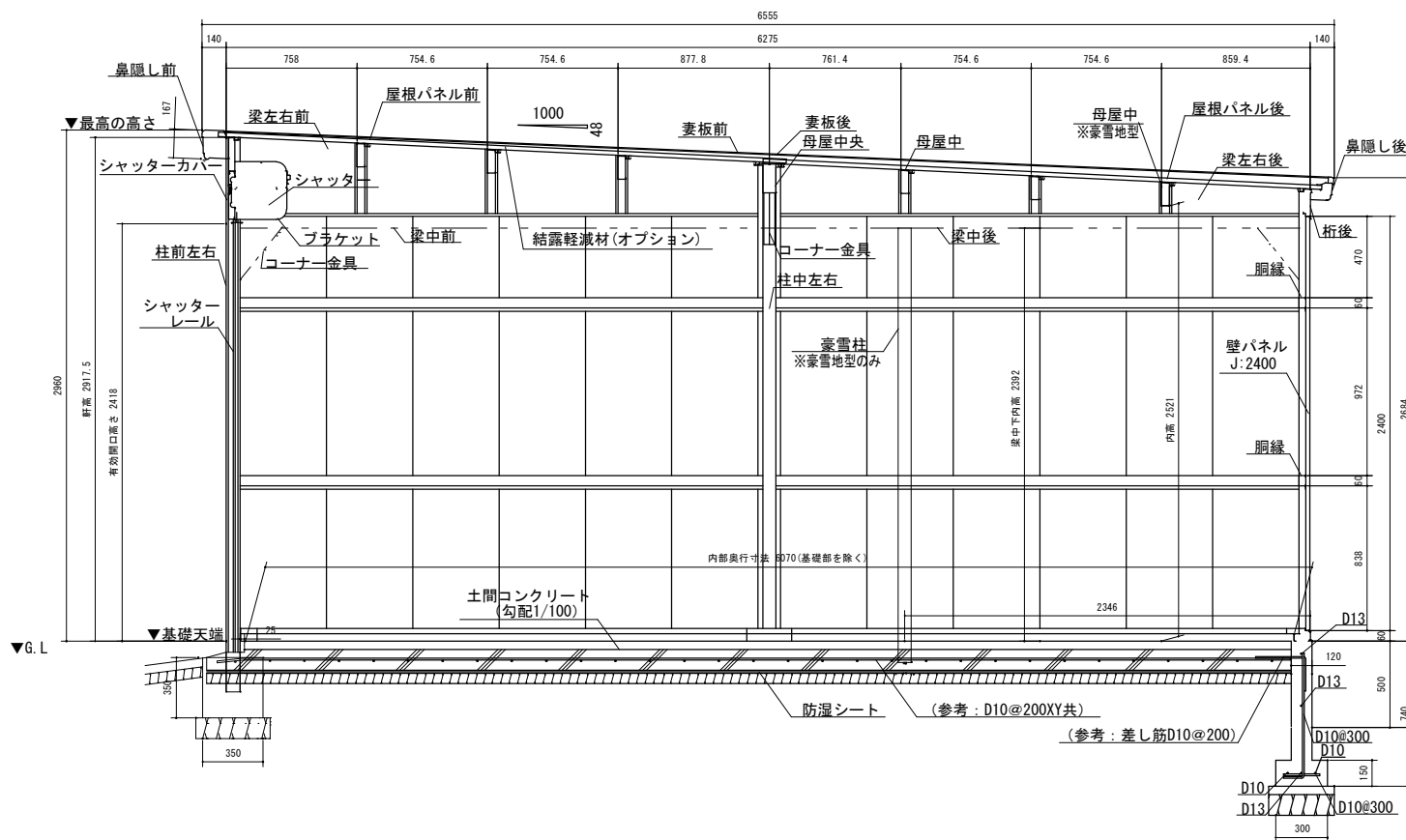
- (注記) 1. 本ガレージは高基礎仕様とする。  
 2. 上記表に記載するガレージ及び附属物を納入すること。  
 3. ガレージの外形・寸法は参考とする。ただし、倉庫面積は74㎡以上を確保すること。また、表に記載する物品は必要条件とする。  
 4. ガレージに使用する材料は、錆止め・亜鉛メッキ等を施したものを使用するものとする。



令和4年度			
工事名	広島高速2号線及び3号線電気室浸水対策その他工事		
図面番号	11	縮尺	図示
図名	広島高速ETC路側設備用倉庫新築工事(その3)断面図(側面)	番号	—
路線名	広島高速3号線		
広島高速道路公社			

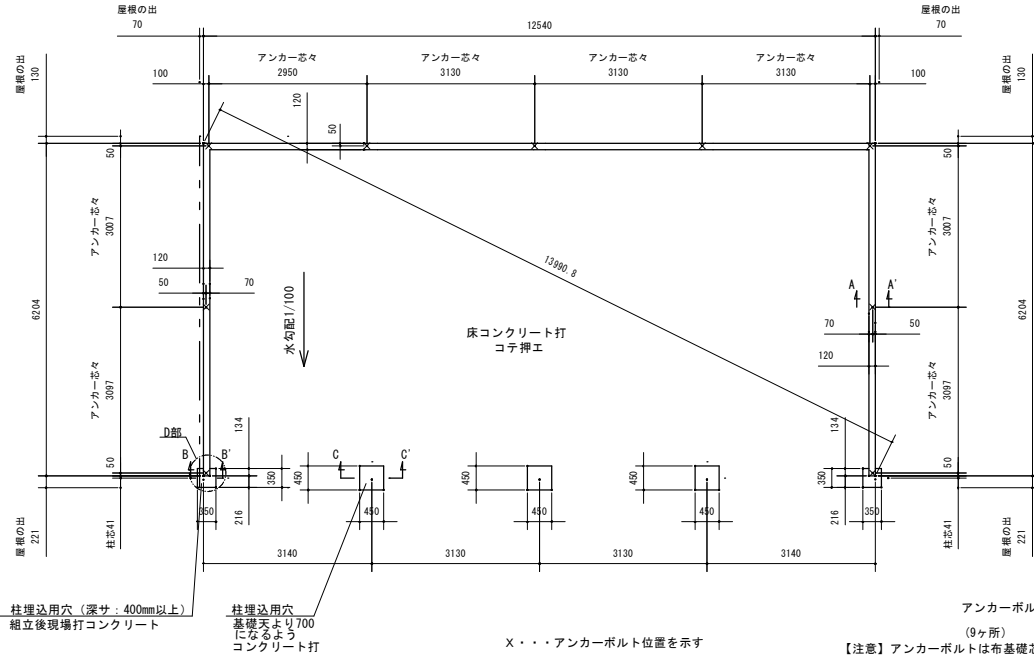
断面図 (側面) (1:30)

(注記) 1. 本工事では、豪雪地型の材料は不要とする。



令和4年度			
工事名	広島高速2号線及び3号線電気室浸水対策その他工事		
図面番号	12	縮尺	図示
図名	広島高速ETC路側設備用 倉庫新築工事(その3) 基礎図・基礎詳細図	番号	—
路線名	広島高速3号線		
広島高速道路公社			

### 基礎図 (S=1/100)



#### (1) 基礎材料表 (4連結)

番号	品名	規格	数量	単位	備考
1	コンクリート	N24		m <sup>3</sup>	
2	再生砕石	RC-40		m <sup>2</sup>	
3	鉄筋	D10、SD295A		kg	
4	鉄筋	D13、SD295A		kg	
5	型枠	合板		m <sup>2</sup>	
6	アンカーボルト	M10×L160		本	
7	防湿シート			m <sup>2</sup>	
8	カンザシ			本	

(注記) 1. 数量は設計書に記載する。

【注意】アンカーボルトは布基礎芯ではありません。

### 基礎詳細図 (N.S)

